

形原みらい工房

～形原の学校と地域の未来を考える～

2026.7.25

あじさいのトンネル完成

形北
3年



あじさい祭りが終わり、「あじさいの里」さんから、たくさんのあじさいの切り花をいただきました。

形北小3年生は、図工の時間に、あじさいの切り花と形原と西浦の町で作られているロープを使って、「あじさいガーランド」を作ることになりました。

本結びとひばり結びを使い、色どり豊かなあじさいをロープで結んで吊るしました。

子どもたちが作ったガーランドを繋げていくと廊下には『あじさいのトンネル』が出来上がりました。子どもたちから、「あじさいの花、綺麗だね」「結びが難しい」「楽しい!」「みんなのガーランドを繋げたらステキだね」などの声が上がりました。



形小 形北 環境 チャレンジ

6/17(水)、形原小・形北小の4年生が、春日浦海岸で環境チャレンジを行いました。

講師の先生に捕まえた生き物の質問をしたり、ボランティアの方に魚を捕まえるのを手伝ってもらったりしました。「岩の下にカニが隠れてた」「この生き物なんだろう?」「ヤドカリ捕まえたよ!」など子どもたちから元気いっぱい声が上がりました。

仲間と協力しながら海の生き物と触れ合う体験を通して生き物が住んでいる環境や特徴を学び形原の海への興味や関心を高めました。



形中

出張おはなし会

6/5(木)、形原中 Skat 広場で、三浦佳穂さん（蒲郡市立図書館司書）による「出張おはなし会」を開催しました。会場となった中庭には、多くの生徒が集まり、友達同士でベンチや芝生に座って絵本の世界を楽しみました。

今回読んでいただいたのは、『二番目の悪者』です。授業でも教材として使われたこともあり、読み聞かせが始まると、生徒たちは静かに耳を傾け、物語が進むにつれて、登場人物たちの行動や結末について考えながら聞く姿も見られました。

『二番目の悪者』は、「うわさをそのまま信じてよいのだろうか」「本当のことを確かめることの大切さ」について考えさせてくれる作品です。今回のおはなし会を通して、生徒たちは読書の楽しさだけでなく、情報を正しく受け止めることの大切さも学ぶことができました。涼しい初夏の中庭で開かれたおはなし会は、心に残るひとときとなりました。



絵本読み聞かせ講座

6/19(金)、形原中協働本部で、希望者を対象とした「絵本の読み聞かせ講座」を開催しました。講師には再び三浦佳穂さんをお迎えし、10名の生徒が参加しました。講座では、お手本として絵本『もこ もこもこ』を読んでいただきました。三浦さんは、絵本の持ち方や

見せ方、読み方のコツなども紹介してくださいました。参加した生徒たちは、実際に声の出し方やページのめくり方を学びながら、読み聞かせの楽しさを感じている様子でした。

今回学んだことを生かし、次のステップとして形原保育園での読み聞かせ実践を企画しています。子どもたちに絵本の楽しさを届けるとともに、生徒たち自身も経験を通して大きく成長してくれることを期待しています。保育園での読み聞かせが、参加した生徒たちにとって貴重な体験になることを願っています。

形小
5年

お茶ふるまい体験

6/5(金)、形小5年生がゲストティーチャーの方にお茶をふるまっていただきました。

子どもたちから「きゅうすからお茶を淹れるところを始めてみた」「いい香りがする」などの声があがりました。子どもたちは、この経験を生かして、今度の授業参観で、家族にお茶をふるまいます。

【問い合わせ】生涯学習課 地域コーディネーター 櫻間寿人

【電話】(0533) 66-1167

